



# プロジェクトメンバー・オブザーバーによる取組状況と情報提供について

---

情報共有プロジェクト全体会議  
全国地方新聞社連合会 説明資料

2023年6月28日



全国地方新聞社連合会

全国地方新聞社連合会は、47都道府県の地方新聞社がひとつに連携し、それぞれの地域実情に沿った推進活動および広報活動を展開。地域での高い情報発信力と伝達力を有する地方新聞社は、地域(生活者)に密着した身近で影響力あるメディアである。

## 住民自らの行動に結びつけるための地方新聞の役割



平時

災害  
発生

災害後

防災力の強化

平時から地域住民へ災害への備えと防災・減災啓発を行い、  
「防災のわがこと化」として防災意識・行動変容に繋げる

防災を地域文化と捉え、リアルな情報提供により  
人の意識に訴える

## 国土交通省 関東地方整備局 X 地方新聞社連合会

防災・減災・国土強靱化のため、地域毎に特性を持つ道路防災のあり方について発信し、災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築の必要性を周知するため、新聞広告等による広報を行い、**防災意識向上のための環境を醸成することを目的に関東エリアの地方新聞へ広告を掲載。**

### 【掲載エリア/媒体】

茨城/茨城新聞社、栃木/下野新聞社、群馬/上毛新聞社、埼玉/埼玉新聞社、千葉/千葉日報社、神奈川/神奈川新聞社、山梨/山梨日日新聞社、長野/信濃毎日新聞

## 掲載内容

### 【10段(特集)】

歴史学者・国際日本文化研究センター教授の磯田道史氏と、国土技術研究センターの徳山日出男氏に寄稿を依頼。

<寄稿テーマ>「歴史に向き合い備えるべきことを考える」

### 【5段(啓発)】

国土強靱化に関する各事務所の取り組みや、地域の自然災害伝承碑についてエリア毎に内容を切り替えて掲載。

地域の実情や災害特性に合わせた事業の展開を、読者に身近で親しみのある取り組みとして周知し、道路事業そのものや防災への対策が

**「地域のため、住民のため」の施策であることの共感と理解の促進を図る。**

**過去の災害から学ぶ 歴史に向き合い備えるべきことを考える**

東大の歴史から学ぶ

関東大震災から100年

「まさか起きない」は決してない

徳山 日出男氏

磯田 道史氏

災害の教訓を生かした街づくりを

3月11日震災当日後の徳山日出男氏

常総国道事務所の防災・減災、国土強靱化への取り組み

10段  
各社  
共通

5段  
各社  
切替え

# 事例①-2 新聞15段周知展開(地域切替え掲載)

## 地域に寄り添った情報発信

●各県の自然災害伝承碑と各国道事務所の取組みを取材、切替え掲載

災害から国民の命と暮らしを守るため、  
国土強靱化に向けた取り組みを推進しています。

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、大規模地震の発生も切迫しています。人々の生命や財産を守るために、過去に甚大な被害をもたらした自然災害を教訓とし、皆さまの命を守る「未来へつなげる防災事業」について紹介します。

1

2

茨城県に建てられた自然災害伝承碑のご紹介  
小貝川水害、関東・東北豪雨

常総国道事務所の防災・減災、国土強靱化への取り組み  
東関東水戸線のミッシングリンク解消

### ▲茨城新聞

- 1 地域の自然災害伝承碑を紹介
- 2 各国道事務所の取組みを紹介

各県の地域実情に即した切替え掲載により  
生活者へより効果的な情報発信が可能

災害から国民の命と暮らしを守るため、  
国土強靱化に向けた取り組みを推進しています。

▲下野新聞

災害から国民の命と暮らしを守るため、  
国土強靱化に向けた取り組みを推進しています。

▲上毛新聞

災害から国民の命と暮らしを守るため、  
国土強靱化に向けた取り組みを推進しています。

▲埼玉新聞

災害から国民の命と暮らしを守るため、  
国土強靱化に向けた取り組みを推進しています。

▲千葉日報

災害から国民の命と暮らしを守るため、  
国土強靱化に向けた取り組みを推進しています。

▲神奈川新聞

災害から国民の命と暮らしを守るため、  
国土強靱化に向けた取り組みを推進しています。

▲山梨日日新聞

災害から国民の命と暮らしを守るため、  
国土強靱化に向けた取り組みを推進しています。

▲信濃毎日新聞

# 事例①-3 新聞15段周知展開(WEB媒体連携)

## WEBを活用した広域への情報発信

- Yahoo! JAPANと連携し、地方紙に掲載した10段記事体紙面の内容を掲載。関東エリアのみならず多くの生活者へ周知啓発を行った。



**来たるべき大災害に向けて 識者に聞く**

【新型コロナ】神奈川県で新たに667人感染 前週に比べ45人減 死者はゼロ

来たるべき大災害に向けて 識者に聞く

ひき逃げ事件で70歳男性が重傷はねた車は逃走か 大井町

横浜市金沢区 車5台に追突し逃げたか 78歳男を送検

大井町の県道でひき逃げか 自転車の70歳男性倒れて重傷

座間の小田急線踏切で男性はねられ死亡 一時運転見合わせ

**神奈川新聞**

来たるべき大災害に向けて 識者に聞く

【新型コロナ】神奈川県で新たに667人感染 前週に比べ45人減 死者はゼロ

来たるべき大災害に向けて 識者に聞く

ひき逃げ事件で70歳男性が重傷はねた車は逃走か 大井町

横浜市金沢区 車5台に追突し逃げたか 78歳男を送検

大井町の県道でひき逃げか 自転車の70歳男性倒れて重傷

座間の小田急線踏切で男性はねられ死亡 一時運転見合わせ

「まさか起きない」は決してない

今年には関東大震災生から100年の節目。さらに言えば日本最大震災の十三回忌に当たり、これら震災が甦んでいく年でもある。だからこそ、今を生きる私たちは歴史に向き合い、復興に対する備えと思考の比重をより増やしていく必要がある。

## 山陽新聞社

●西日本豪雨(平成30年7月豪雨)から毎年7月6日に特集紙面および継続的なWEBページを掲載。WEBでは写真・動画や図表などリアルな情報を掲載し、地域住民へ災害の経験を風化させず、備えに対する意識醸成を図る企画を展開。



※3年目は16ページ別刷

西日本豪雨から5年の節目となる2023年は改めて「防災」「減災」を個人・行政・企業が連携し地域全体で考える紙面企画や主催イベントを実施予定。

## 中国新聞社

●防災の日を契機に、地域住民へ「防災」「減災」について考えるきっかけとする独自紙面企画を展開。デジタル版でも掲載。防災の日以外にも定期的に掲載し、平時から地域防災力の向上に資する紙面を掲載。

平時から地域防災力の向上に資する企画紙面を  
防災の日以外にも定期的に掲載し、地域住民への啓発を図る。



## 下野新聞社

- 子ども達の防災意識の向上と、災害意識の必要性を知り、災害が発生した場合に実践できる工作教室を開催。新聞を活用した防災グッズなどを作り、親子で災害時の行動啓発を行った。

子どもたちの防災意識向上へ

楽しく作ろう！

身近なもので作れる**防災グッズ**工作教室

子どもたちの防災意識の向上と、災害意識の必要性を知り、災害が発生した場合に実践できる工作教室を開催します。

～講師～ NPO法人栃木防災士会 理事長 稲葉 茂 様

### #01 ゴミ袋で作ろう

**フード付き雨合羽**

フード付き雨合羽

ゴミ袋 (45 & 以上) を図の点線の通りはさみで切る。

**あったか防寒着**

あったか防寒着

ゴミ袋 (45 & 以上) を図の通り、首・腕が出る部分をはさみで切る。

### #02 新聞紙で作ろう

**スリッパ**

スリッパ

- 新聞紙2枚(4ページ)を縦にして、裏面の半分を台折線に合わせて1/4に台折する。
- 裏面を裏返し、縦に3等分した台折を、①で1/4に台折した部分に片方を差し込む。(スリッパの底になるのがL字テープ等ではめる)
- 裏面を裏返し、1/4折の部分の袋を開けるとスリッパの片足が完成。

※子供用は新聞紙1枚(2ページ)を半分に折り、縦長にして①からやる。

### #03 段ボールで作ろう

**簡易トイレ**

簡易トイレ

① ①を側面の大きな面が上下になるように横向きにする。上面の中央に②の大ききの印をつけ、短い方の一辺を残して5mm内側を切る。

② ③のふたを粘着テープで外側に留め、④の中に入れる。

③ ④の前面のすき間のサイズに合わせて⑤を粘着テープで裏に貼る。

④ 大型のポリ袋を全体にかぶせ、中型のポリ袋を中央の穴にはめて使う。 ※写真は、中の箱に大型ポリ袋をかぶせて使う場合。

### #04 レジ袋で作ろう

**三角巾**

三角巾

- ① ビニール袋の両サイドを切る。
- 腕を通したら、取っ手の部分を重ねて頭を通し、首に掛ける。
- 腕が水平程度になるように長さを調節する。(帯をきかれて一重重ね位置まで)

**おむつカバー**

おむつカバー

- ① ビニール袋を両サイドから切り開く。
- 足をくぐらせ、持ち手部分を結び、
- ③ このよう仕上げになります。



**宇都宮**  
**ごみ袋が雨がっぱに 親子で防災グッズ作り**

身近なものを使った防災グッズ作りに取り組む親子連れ11日午前、宇都宮市西川田町「ツズ教室」(下野新聞社主)

とちぎ防災・減災プロジェクトの「しもつけ防災キッズ教室」(下野新聞社主)が9日、宇都宮市西川田町の県立しも

午後4時、同市陽東6丁目のベルモール内カリヨンプラザでも開かれる。参加無料。先着200人。(田面木千香)

合科学館で開かれ、小学生の親子連れが、身近なものを使った防災グッズ作りを体験した。

次代を担う子どもたちが、楽しみながら防災意識を高められるようにと、開かれた。

午前中の回には約40人が参加し、ごみ袋で作る雨がっぱや新聞紙製のスリッパ、段ボールを使った簡易トイレ作りなどを体験。親子で協力しながら、熱心に作業に取り組んだ。講師はNPO法人県防災士のメンバーが務めた。

母親の高根沢町宝積寺、公務員朝倉朝代さん(49)と参加した小学6年生光澤君(12)は「身近なものでこんな防災グッズが作れるんだと驚いた」と話した。

同様の教室は10日午前11時午後4時、同市陽東6丁目のベルモール内カリヨンプラザでも開かれる。参加無料。先着200人。(田面木千香)

主催/下野新聞社 共催/栃木県 協力/NPO法人栃木県防災士会 日本赤十字社栃木県支部 宇都宮地方気象台 作新学院大学 特別協賛/ JA共済連 栃木

## 茨城新聞社

- 東日本大震災から10年を契機に、創刊130周年記念事業としてキャンペーンを展開。  
特集紙面から学ぶだけでなく、民間企業と連携し防災ハンドブックの作成や、子どもの避難行動を促すキャンプ等を実施。



# 「地域防災コラボチャンネル」 取り組み状況について

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

2023年6月28日

# 地域防災コラボチャンネルについて

# 地域防災コラボチャンネルの概要

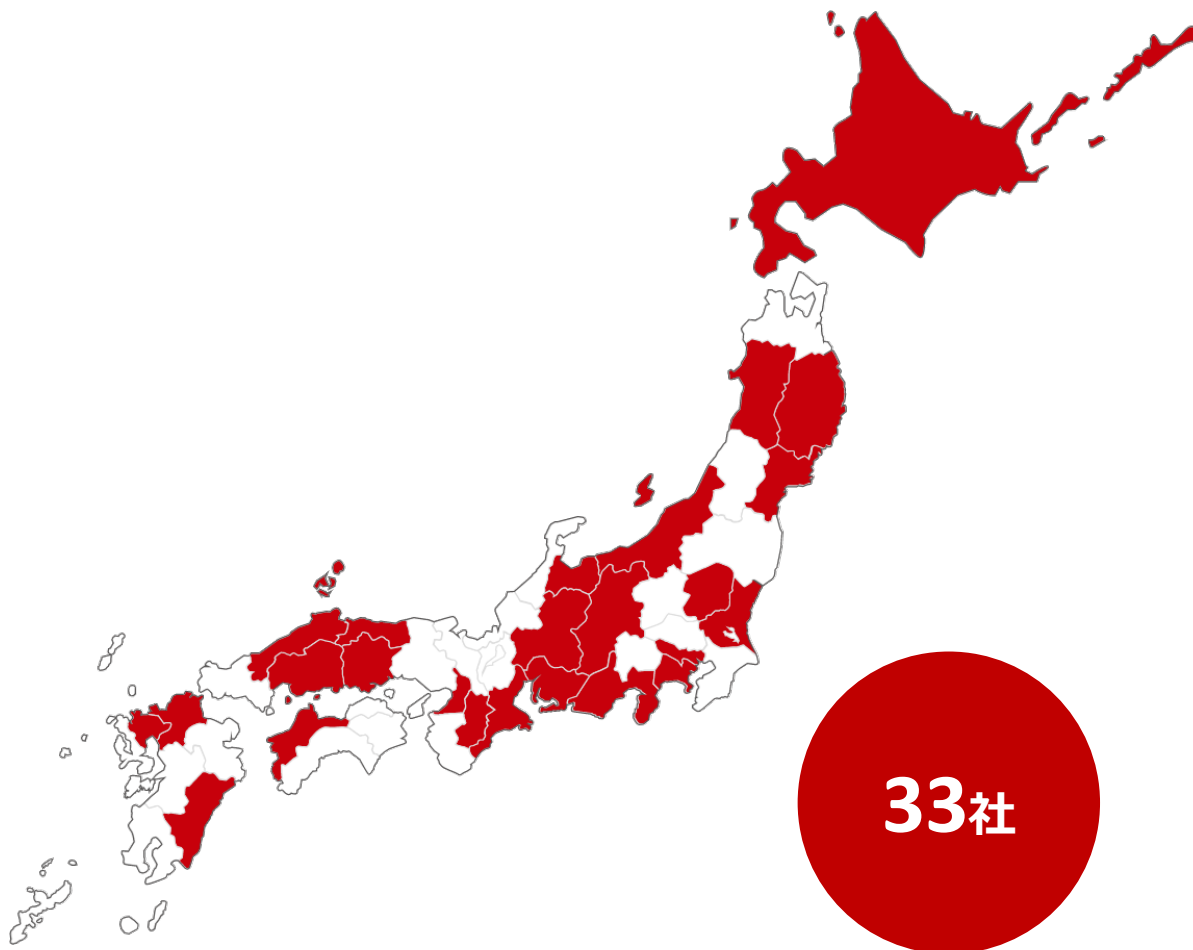
ケーブルテレビ事業者が有する地域密着性というメディア特性を活かして、より身近な地域の災害情報を住民に届け、的確な避難行動につなげる取り組み。

国土交通省の各整備局と地域のケーブルテレビ事業者が連携し、身近な地域の災害情報を提供する社会実験を実施。具体的には、国交省から提供いただく河川監視カメラ映像、河川・ダム の水位情報等をTVのコミュニティチャンネル（データ放送含む）で放送するとともに、PCやスマホ向けのホームページ発信やコミュニティFM等との連携を行っている。



ケーブルテレビ放送例（上越ケーブルビジョン株式会社（新潟県上越市））

# 地域防災コラボチャンネル参加事業者について



整備局	社名
北海道	株式会社ジェイコム札幌
	帯広シティーケーブル
	旭川ケーブルテレビ株式会社
東北	株式会社秋田ケーブルテレビ
	ニューデジタルケーブル株式会社
	仙台CATV株式会社
関東	株式会社JWAY
	ケーブルテレビ株式会社
	イツツ・コミュニケーションズ株式会社
	YOUテレビ株式会社
北陸	上越ケーブルビジョン株式会社
	株式会社エヌ・シー・ティ
	株式会社インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ
	高岡ケーブルネットワーク株式会社
	株式会社ケーブルテレビ富山
中部	株式会社TOKAIケーブルネットワーク
	シーシーエヌ株式会社
	株式会社大垣ケーブルテレビ
	株式会社キャッチネットワーク
近畿	株式会社ZTV
	株式会社ベイ・コミュニケーションズ
	株式会社ジェイコムウエスト
	近鉄ケーブルネットワーク株式会社
中国	株式会社ちゅびCOM
	岡山ネットワーク株式会社
	株式会社中海テレビ放送
	石見ケーブルビジョン株式会社
四国	株式会社ケーブルネットワーク西瀬戸
	西予CATV株式会社
九州	株式会社ケーブルワン
	伊万里ケーブルテレビジョン株式会社
	株式会社ケーブルメディアワイワイ
	株式会社ジェイコム九州

# 2022年度の取り組み状況

参加事業者を対象にアンケートを実施  
n=26(33社中、26社回答)

# 2022年度 地域防災コラボチャンネルの取り組み状況①

## Q.放送・配信状況

平常時より放送・配信：**21**社 緊急時のみ放送・配信：**5**社

## Q.平常時の放送・配信の内容(複数回答)

河川映像情報：**21**社 河川水位情報：**7**社 雨量情報：**1**社

ダム映像情報：**1**社 コミュニティFM放送との連携：**1**社

ハザードマップ：**1**社 その他(道路映像情報、防災情報QRコードなど)：**3**社

## Q.放送・配信の媒体(複数回答)

コミュニティチャンネル(本放送)：**19**社 コミュニティチャンネル(データ放送)：**7**社

アプリ：**7**社 ホームページ：**2**社 SNS：**1**社

コミュニティFM放送：**1**社 その他(自社オウンドメディア)：**1**社



## 2022年度 地域防災コラボチャンネルの取り組み状況②

### Q.放送・配信の内容<プロジェクト情報以外> (複数回答)

市町村の防災情報 : **17**社 市町村からの避難情報 : **16**社

都道府県の防災情報 : **6**社 プロジェクト情報のみ : **1**社

その他(停電情報、公共交通機関運行情報、道路交通情報など) : **5**社

### Q.放送中トラブルの有無

なし : **17**社

あり(カメラ故障、フリーズ、ブラックアウト、仕様変更、メンテナンス中など) : **4**社

## 2022年度 地域防災コラボチャンネルの取り組み状況③

### Q.視聴者からのご意見や反響(自由回答)

#### (ご意見)

- ・平常時から河川映像を放送しており、**防災の面で役立つ。**
- ・日常から河川の状態を見ることが出来るので、災害発生のおそれがある時に**いち早く状況が確認**できる。
- ・**台風18号発生時に河川カメラの情報を頼りにしていた。**
- ・危険な川を直接見に行かずにすんで助かる
- ・憶測とかではなく**事実のライブ映像**を放送してくれて地域密着のCATVに感謝。
- ・河川の様子が**リアルタイムで確認できる**のがよい。

#### (ご要望)

- ・国交省さんのカメラ画角についての要望 (**もっと水位が分かる映像が見たい**等)
- ・**河川カメラ映像を複数見られるよう**になれば良い。家の近くの河川映像を見たい。
- ・**もっとクリア**で左右に黒帯のない**フル画面**にしてほしいとの意見あり。

## 2022年度 地域防災コラボチャンネルの取り組み状況④

### Q.地域防災コラボチャンネルへの要望(自由回答)

- ・大雨の時など平時に比べて映像の取り込みでタイムアウトを起こすことがあるため、**帯域の増強、ネットワーク機器の増強をお願いしたい。**
- ・国土交通省の**道路カメラの映像も公開して欲しい**（災害発生時だけでも）
- ・**カメラの画質**を上げてほしい。夜間の河川水位が分かるようにしてほしい。
- ・**道路の動画映像の開放**を要望いたします。
- ・洪水の危険を訴えるなど、**番組の制作協力及び出演協力をお願いしたい。**
- ・**堤防の危険個所の情報提供、水位情報取得箇所の増設**をお願いしたい。
- ・平常時から河川カメラ情報を**ローテーション**などで視聴者にみていただけるように、また**マルチ映像(分割画面)が表示**できるようにできれば、災害の同時多発化にも対応できると考える。
- ・受信カメラ映像数について**常時の同時受信数増加**を希望。L字、データ放送で活用可能な災害情報のデータ連携の実現。
- ・設備構築にコストがかかるので、**補助金制度などがあればより広げていきやすい。**
- ・1級河川だけでなく支流の**2級河川等の映像も必要。**
- ・**定期的な情報交換の場**を設けてほしい。

# 直近の取り組み状況

# ① 株式会社TOKAIケーブルネットワーク(静岡県沼津市ほか)

## 【主な被害】

6月2日から3日にかけて、静岡県内で線状降水帯が発生。サービスエリア内で浸水被害や道路冠水被害があった。

## 【放送内容】

6月2日午後から3日にかけて、編成を変更し、**河川ライブカメラの映像をコミュニティチャンネルで放送したほか、コミュニティFMと連携してラジオ放送も行った。**

## 【放送エリア】

静岡市、沼津市、三島市、富士宮市、島田市、富士市、焼津市、藤枝市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、田方郡函南町、駿東郡清水町、長泉町、小山町、榛原郡吉田町

## 【対象河川】

安倍川、狩野川、大井川

## 【反響】

自社Twitterでも告知を行い、**視聴者から“いいね”や“RT”をもらった。**

## ② 株式会社ZTV(三重県津市ほか)

### 【主な被害】

6月2日から3日にかけて、三重県内で線状降水帯が発生。サービスエリアである伊勢市内を流れる五十鈴川が氾濫危険水位に達し、約3万世帯に避難指示が出された。

### 【放送内容】

6月2日午後から3日にかけて、**河川ライブカメラの映像をコミュニティチャンネルで放送した。**

### 【放送エリア】

津市、松阪市、亀山市伊勢市、度会町、玉城町、南伊勢町、鳥羽市、志摩市磯部町

### 【対象河川】

鈴鹿川、安楽川、雲出川、波瀬川、中村川、宮川、五十鈴川、勢田川、桧尻川

### 【反 響】

**視聴者から「河川の様子が見れて良かった」との声をいただいた。**

# 取り組みと課題

日本放送協会 2023/6/28

**NHK**

備えに役立つ動画や記事をまとめました！



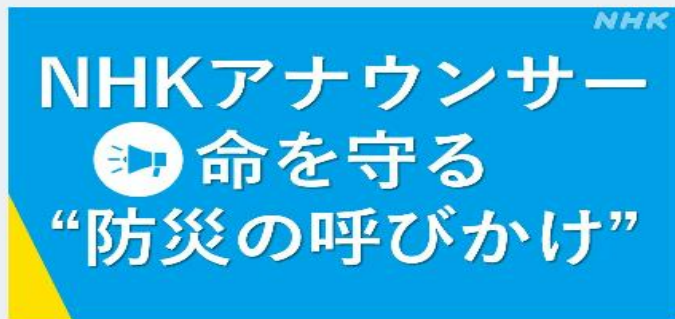
被災した時これだけは知ってほしい  
「避難生活&住宅再建ガイドブック」



災害列島 命を守る情報サイト



「内水氾濫」に注意！ 近くに川がなくてもリスクが・・・



NHKアナウンサー 命を守る"防災の呼びかけ"



NHK全国ハザードマップ



非常用持ち出し袋 あなたに必要なものは？

[水害から命と暮らしを守る | NHK動画 | 事前の備えと早めの避難を](#)



# 内水氾濫への注意喚起コンテンツを追加



バーチャル防災解説～内水氾濫編～  
【広島放送局版】



バーチャル防災解説～内水氾濫編～  
【徳島放送局版】



バーチャル防災解説～内水氾濫編～  
【高松放送局版】



バーチャル防災解説～内水氾濫編～  
【高知放送局版】



バーチャル防災解説～内水氾濫編～  
【福岡放送局版】



バーチャル防災解説～内水氾濫編～  
【長崎放送局版】

[バーチャル防災解説 各局版](#) | [水害から命と暮らしを守る](#) | [NHK動画](#) | [事前の備えと早めの避難を](#)

# 逃げなきやコールの展開「みんなで助かるコール」

## 動画



【30秒動画：祖母編】大好きなおばあちゃんに、いつ避難を呼びかける？



【30秒動画：友人編】避難の情報をキヤッチしたら、どう呼びかける？



みんなで助かるコール【秋田局版】



みんなで助かるコール【山形局版】



みんなで助かるコール【水戸局版】



みんなで助かるコール【宇都宮局版】

[みんなで助かるコール 各局版](#) | [水害から命と暮らしを守る](#) | [NHK動画](#) | [事前の備えと早めの避難を](#)

# 防災ソング「こわがりヒーロー」

みんなのうた



大人は“正常性バイアス”  
にとらわれがち

「こわい」  
「早く逃げよう」という  
正しくこわがる  
素直な気持ち



避難のきっかけの  
3割は  
「周囲の声かけ」



子どもたちにも身近な人の  
命を守るパワーがある！

「あるけるか そとをかくにん！」  
「あんぜんな ばしょにいこう！」  
「となりの おばあちゃんに こえ(を)かけよう！」  
「いますぐ みんな にげようー！」

わたしが こわがることで  
みんなの きもちが うごく  
おおくの いのちを すくうんだ  
こわがれ！こわがれ！こわがりヒーロー

「こわがりヒーロー」災害を正しく恐れて、君も防災のヒーローに！

# 「かわ知り」

ねらい：主要河川の「地域の具体的な防災情報」にこだわったコンテンツ  
今年度、国交省の協力も得てリーフレット・ポスターを作成



## 特徴①:「具体名」にこだわる河川情報

- ・関東の9の「一級河川」を管内各局が取材。  
「流域の住民にターゲットを絞った企画」
- ・約3分の汎用Vを作成しHPの特設ページに、  
記事・動画を掲載。繰り返しQR誘導。
- ・各ローカルで運用可能。

## 特徴②:緊急時にも活用

- ・9月の台風14号接近時、610で「荒川」、  
当日の特設ニュースで「鶴見川」のVを放送。  
当日、鶴見川は氾濫警戒情報が発表されていた。
- ・特設サイトと各記事に  
QR誘導



# 地域ミーティングを各地で開催

NHK

## 地域ミーティング #みんなで助かるために

📌 水害から命と暮らしを守る

2022年5月17日



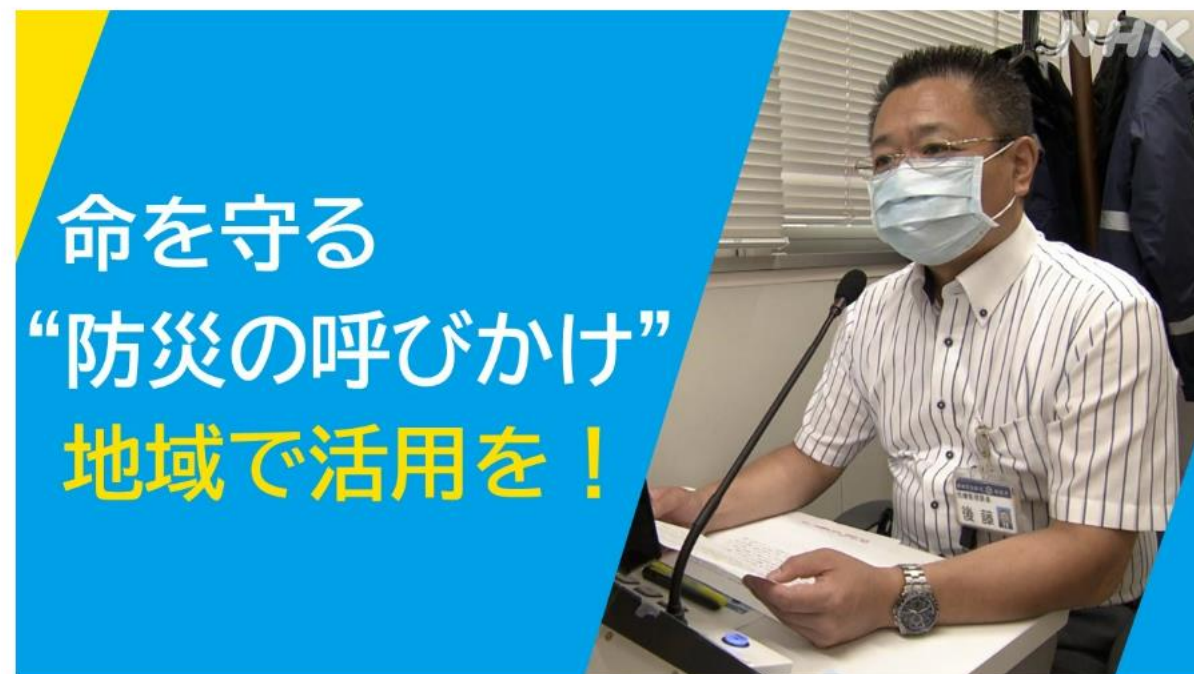
[地域ミーティング #みんなで助かるために | 水害から命と暮らしを守る | NHK動画 | 事前の備えと早めの避難を](#)



## 命を守る“防災の呼びかけ” 地域で活用しませんか？

水害から命と暮らしを守る

2022年10月7日



防災の呼びかけを、自由に活用してください



テキストデータ(CSV)を  
ダウンロード



PDFをダウンロード

公開について

ご利用にあたって

[NHKアナウンサーの命を守る“防災の呼びかけ” - NHK](#)

## 水害にあわれた方へ/屋根に被害を受けた方へ 印刷用リーフレットのページ

水害から命と暮らしを守る

2022年6月29日

**水害にあわれた方へ**

今は不安な気持ちだと思います。片付けの情報は限られます。ご自身のペースで進めてください。支援制度もあります。困った時には遠慮なく、行政や支援団体の助けもかりてください。

**水害のあと片付け前に写真を撮影**

被災後の状況を記録 保険金の請求などでトラブルを避けるために被害の状況写真を記録に残しましょう

**家の外から**

写真の撮り方

写真の撮り方

写真の撮り方

**被災ローン減免制度の活用**

被災して借入ローンや個人事業ローンなどの返済が難しくなったときに一定の条件を満たせば返済を滞りなくしてもローンの返済免除や減額ができる制度です

1 返済が滞り始める 2 返済が滞り始める 3 返済が滞り始める 4 返済が滞り始める

500円未満

動画

動画

**屋根に被害を受けた方へ**

雨漏りが心配だと感じます。でも屋根の上で自分で直すのは危険ですから、絶対にやめてください。屋根には雨漏りがかかるかもしれません。その際、できるだけの被害を抑えようとして、室内にシートを張り、その下で生活するための「雨漏り対策」をご紹介します。

**和室 ブルーシートを室内に張る**

用意するもの

- ブルーシート
- 衣装ケース
- ビニールひも
- フック
- 養生テープ
- ハサミ

1 ブルーシートを室内に広げる

2 フックも壁紙の隙間におさめる

3 ブルーシートをひもで吊りフックにつるす

4 シートがたおねようにひもの端を固定する

5 シートの端(矢印)に重り(水が入ったペットボトル)をつける

濡れたら、外して干しましょう

動画もあります

NHK「命を守る」サイトから動画が観られます

ブルーシートを屋根に張る方法

濡水した家財の片づけと保管方法

**天井がクロスの場合**

**ブルーシートを室内に張る**

中に雨水がたまるので、1か所から落とす

用意するもの

- 大きめのポリ袋
- ビニールひも
- 養生テープ
- ペットボトル
- ハサミ

1 天井のクロス(天井)をペットボトルの口に通し、その部分(隙間)をハサミで切る

2 カットして開いた口をペットボトル側に折り重ね、テープでとめる

3 点検を切って広げる

4 養生のしょうごができる

5 天井のクロスに切れ目を入れたあと養生テープで切り目を固定する

絶対に屋根には上がらない!

ボランティアの助けを社会福祉協議会に相談

災害が起きた時、被災された方が活用できる情報をまとめました。ダウンロードして印刷できるリーフレット原稿のページです。

復興期 | 水害から命と暮らしを守る | NHK動画 | 事前の備えと早めの避難を

- ▶HM関連データの作成・収集・チェック・公開のフローと体制
- ▶データの一元管理と共有方法の一元化・システム化
- ▶「履歴（どのデータをどう更新したか）」が不十分
- ▶新「電子化ガイドライン」に沿っているかどうかのチェック機能
- ▶都道府県・市区町村の担当者の意識・行動（従前から変化したか）
- ▶データの更新・管理に必要な予算・要員



▶国土交通省内統一の「メッシュデータ」を公開・提供する

自治体側の業務初期で「座標系」の誤りが起きている可能性がある

正：「基準地域メッシュ」またはそれを細分した「緯度経度座標系」

誤：「平面直角座標系」を使っている

▶新「電子化GL」厳守を担保するシステムとフロー導入を

国交省が用意するチェックツールにデータを格納するフローに

(GLを満たさないデータは、自動的にはねられエラーメッセージが出るなど)

**【確認】 MAXALL.csv METADATA.csv は、すでに公開・提供済み？**

# 民放連の災害放送に関する取り組み

---

日本民間放送連盟  
報道委員会・災害放送専門部会

# 新たな防災情報に関する説明会2023

2023年4月20日(金) 14:00~16:00

---

報道委員会  
災害放送専門部会

## 【企画意図】

気象庁が、本年の出水期を控えて、線状降水帯による大雨について“直前予測情報”の運用の開始を予定していることから、会員各社において情報や考え方を共有し、的確な対応を進めるため。

---

## 【関係会合】

- 気象庁「防災気象情報に関する検討会」

## プログラム

### テーマおよび講師

#### (1) 線状降水帯に関する情報等

気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 広域避難支援気象防災推進官 坪井 嘉宏

#### (2) 「洪水キキクル」（洪水警報の危険度分布）の活用

気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 水害対策気象官 橋口 祥治

#### (3) 今後の防災情報の動向について（意見交換）

##### 災害放送対策部会

幹事 福島 隆史（TBSテレビ・報道局解説委員）

副幹事 倉林 隆文（日本テレビ放送網・報道局ライブソリューション部担当副部長）

副幹事 水谷 寿彦（テレビ朝日・報道局ニュースセンター災害報道担当部長）

## 会員各社への情報提供(最近の例)

- 「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用について  
(気象庁)
- 「Lアラートのシステム移行に関する説明会」開催案内  
(FMMC)
- 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用開始について  
(内閣府／気象庁)
- 火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方とそれを踏まえた情報発信の運用改善について(気象庁)

# Lアラートの取り組みについて

一般財団法人 マルチメディア振興センター  
Foundation for MultiMedia Communications

2023年6月28日

## ■ 都道府県Lアラート担当者研修2023の実施

- 実施日： 4月20日（木）
- 参加都道府県： 43都道府県（2022年度：40都道府県）
- 参加者数（都道府県）：62名（昨年度：49名）
- 主な研修内容
  - Lアラートサービスの概要
  - Lアラートの今後の運用について
  - Lアラートの運用状況と全国合同訓練について
  - 全体質疑



## ■ Lアラート全国合同訓練2023の実施

- 実施期間 5月24日（水）と25日（木）の2日間
- 参加都道府県： 47都道府県（2022年度：47都道府県）
- 参加組織数： 1,850組織（2022年度：1,789組織）
  - ※内訳：都県、市区町村及びその出先機関
- 訓練情報発信件数： 23,691件（2022年度22,093件）

国（海上保安庁）

ライフライン事業者（63）

・東西日本電信電話、携帯電話（NTTドコモ,KDDI,ソフトバンク）

・ガス（58）

（主な内訳）

情報種別	発信件数（昨年度）
避難情報	10,621件（9,917件）
開設避難所	7,914件（7,205件）
被害情報	293件（294件）
災害対策本部設置状況	3,204件（3,073件）
お知らせ、イベント情報	1,659件（1,604件）



一般財団法人

マルチメディア振興センター

**Foundation for MultiMedia Communications**

~国土交通省 水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト~

# ヤフーの取り組みについて

2023.06.28

ヤフー株式会社 天気・災害サービス



## ■ 防災タイムライン (デジタル・マイ・タイムラインワークショップ参加)

2021年度に引き続き、全国各地地方整備局の説明会・ワークショップに参加  
デジタル・マイ・タイムラインの周知拡大と、利用者のご意見の傾聴が目的

- 2022.10.13 高知県四万十市
- 2022.11.10 岡山県倉敷市真備町
- 2022.11.12 兵庫県小野市 (リモート)
- 2022.12.09 佐賀県佐賀市
- 2023.01.16 北海道帯広市
- 2023.02.05 宮城県丸森町 (リモート)



2022.11 岡山県倉敷市真備町

# ハザードマップ（洪水浸水想定区域など）の追加・更新

想定最大規模の洪水浸水想定区域をYahoo!内のWebサイト・アプリに掲載中

- ・ 防災タイムライン
  - ・ 災害マップ
  - ・ 大雨警戒レベルマップ/河川水位情報
  - ・ Yahoo! MAPアプリ防災モード（後述）
- 今後も掲載面拡大や機能拡充を目指していきます。

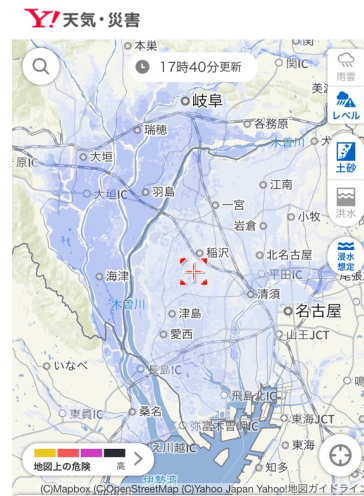


国・都道府県より洪水浸水想定区域図のShapeデータを入手、加工

➤ 4,800河川→6,200河川

都道府県による中小河川の追加指定が増える見込み

→公開に合わせて更新を進めていきます。



愛知県

土砂災害

1 2 3 4 5

現在危険はありません。大雨に備えて付近の危

# Yahoo! MAPアプリ 防災モード

Yahoo! MAPアプリの「防災モード」で洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域の掲載を開始

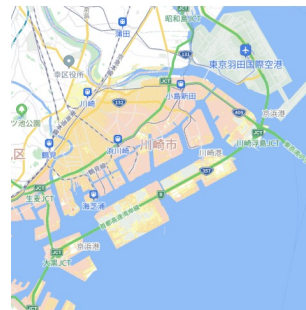
土砂災害の警戒区域



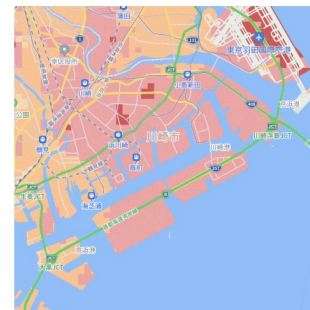
洪水の浸水想定区域



津波の浸水想定区域



地盤のかたさ(ゆれやすさ)



# 住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・ リスク情報共有プロジェクト 楽天モバイルの取組み

2023年6月28日


楽天モバイル株式会社

BCP管理本部

**Rakuten** Mobile

# 当社概要

## 携帯キャリアとして通信業界に風穴をあけるべく、革新的なサービスを提供

社名	楽天モバイル株式会社 (Rakuten Mobile, Inc.)	
設立	2018年1月10日 (旧社名：楽天モバイルネットワーク株式会社)	
代表	代表取締役会長 三木谷 浩史 代表取締役 共同CEO 鈴木 和洋 代表取締役 共同CEO Tareq Amin (タレック・アミン) 代表取締役社長 矢澤 俊介 代表取締役副社長 松井 房樹	
本社	東京都世田谷区玉川一丁目14番1号 楽天クリムゾンハウス	
事業内容	電気通信事業法に基づく電気通信事業、その他通信に関する事業	
株主構成	楽天グループ株式会社 100%	
従業員数	4,830人 (2023年1月1日現在) ※正社員、契約社員を含む	
主な提供サービス	楽天モバイル、楽天ひかり、楽天シニアなど	





## 令和5年度より、 本プロジェクトに参画

令和5年6月13日より、楽天回線エリアにおける緊急速報メールの「洪水情報」配信開始

### 楽天回線エリアにおける緊急速報メールの「洪水情報」配信について

2023年5月23日

平素より楽天モバイルをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
2023年6月13日（火）より、楽天回線エリアでも緊急速報メールの「洪水情報※1」が配信可能となるため、お知らせいたします。  
なお、お客様がご利用中の製品において、本変更に伴う設定変更の必要はございません。

#### ■変更日

2023年6月13日（火）

#### ■変更内容

楽天回線エリアにおいて、緊急速報メールの「洪水情報」の配信に対応

変更前)

楽天回線エリア：未対応

パートナー回線エリア：対応

変更後)

楽天回線エリア、パートナー回線エリア：対応

楽天モバイルの緊急速報メールについては、以下をご確認ください。

[楽天モバイル オプションサービス 緊急速報メール](#) 

国土交通省からの本件に関する「お知らせ」は、以下をご確認ください。

[国土交通省HP「洪水の緊急速報メール配信対象を拡大します」](#) 

※国土交通省のホームページに移動します。

※1「洪水情報」は、国土交通省より、指定河川洪水予報の氾濫危険情報（レベル4）及び氾濫発生情報（レベル5）の警報発表を契機に、主体的な避難を促進するための情報を、流域住民に配信しています。

楽天モバイルは、引き続きお客様への快適なサービス提供に取り組んでまいります。

## 国土交通省関東地方整備局と協定を締結（2023/6/15）

関東地方整備局管轄エリア（関東一都八県）内での災害等発生時、より迅速で効率的かつ効果的な災害対応を行うことを目的に、相互に連携協力して携帯電話網の復旧を図るべく「災害対応の協力に関する協定」を締結。



### ■内容

平時より連絡体制を整え、防災訓練の共同実施などを通じ、災害に備えるとともに、災害時には以下の協力をする

#### <国土交通省関東地方整備局からの協力>

- ・道路啓開（けいかい）に関する情報の提供
- ・携帯電話事業者が行う通信サービスの復旧に必要な車両の進入及び設備の設置に関する調整
- ・携帯電話事業者の通信サービスの復旧活動に必要な関東地方整備局の敷地（道の駅駐車場等）の提供

#### <当社からの協力>

- ・通信サービス支障地域に関する情報の提供
- ・関東地方整備局が災害応急対策等を行う地域における通信手段の確保

#### <双方からの協力>

- ・災害現場における被災状況や応急対策状況等に関する情報の提供

**Rakuten** Mobile

国土交通省

住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト

# LINEの取り組みについて

LINE株式会社 CSR戦略室

2023.6.28

# 「3.11 これからも、できること。」

ヤフーとLINE、防災啓発や東日本大震災の被災地復興支援などを行う共同企画  
「3.11 これからも、できること。」を実施

出典：LINE株式会社 ヤフーとLINE、防災啓発や東日本大震災の被災地復興支援などを行う共同企画「3.11 これからも、できること。」を実施

<https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2023/4512>

# 「3.11 これからも、できること。」

---

## 企画内容

### 「検索は、チカラになる。」

2023年3月11日に「3.11」と「Yahoo!検索」で検索すると10円、「LINE Search（「LINE」のニュースタブ上部の検索窓）」で検索すると10円、合わせてひとりにつき20円をヤフーとLINEから東日本大震災の被災地支援や防災をはじめとするより良い未来づくりへの活動に寄付しました。

<https://www.search311.jp/#search>

### 「知るは、チカラになる。」

「Yahoo!ニュース」では、昨年8月に避難指示が解かれ町民の帰還が始まった福島県双葉町のいまを写真やインフォグラフィックを交えて紹介する特集企画を実施しました。

「LINE NEWS」では、今年2月に緊急地震速報に追加された長周期地震動に関して、イラストで分かりやすく解説する動画を制作しました。

<https://www.search311.jp/#know>

### 「防災は、チカラになる。」

ヤフーとLINEが共同開発した、ユーザー体験型の防災コンテンツを公開。“主人公が自宅にいる際に巨大地震が発生する”という設定のもと、首都直下地震や南海トラフ地震などを想定し、発災時に活用できるYahoo! JAPANおよび「LINE」の各種防災機能を使いながら、一連の避難行動をシミュレーションできます。

<https://www.search311.jp/#bosai>

### 「寄付は、チカラになる。」

これからの未来のために、いまでも支援を必要とする人のために、またより良い社会づくりのために、寄付という形でユーザーの想いを東北へ届けました。

<https://www.search311.jp/#donation>

# 「3.11 これからも、できること。」

## 3分でできる避難訓練「スマホ避難シミュレーション」

ユーザーはシミュレーションを通じて、“地震発生時の初期行動”や“デマや誤情報への対応”、“避難場所の確認・移動”、“「LINE」での安否確認”などをアニメーションとともに、クイズに回答しながら学べます。シミュレーション終了後、クイズの回答結果を踏まえたスコア表示や、体験中に出てきた防災知識を振り返り学べるコーナーも用意しています。



公開期間：2023年3月1日～終了時期未定

「スマホ避難シミュレーション」体験ページ：<https://www.sp-hinan.jp/>  
プロモーション映像 - YouTube (外部サイト)：<https://youtu.be/zzE-q-xeM50>

# 情報防災教育の取り組み

一般財団法人LINEみらい財団\*において、災害が起きた際、情報を活用しながら命を守る行動が取れるよう“災害時の情報とのつきあい方”に焦点をあてた「情報防災教育」に取り組んでいます。その中で、教材「情報防災訓練」の開発・無償での提供を行っています。

\*一般財団法人LINEみらい財団 <https://line-mirai.org/ja/>

**対象：小学校高学年～高校生を想定**

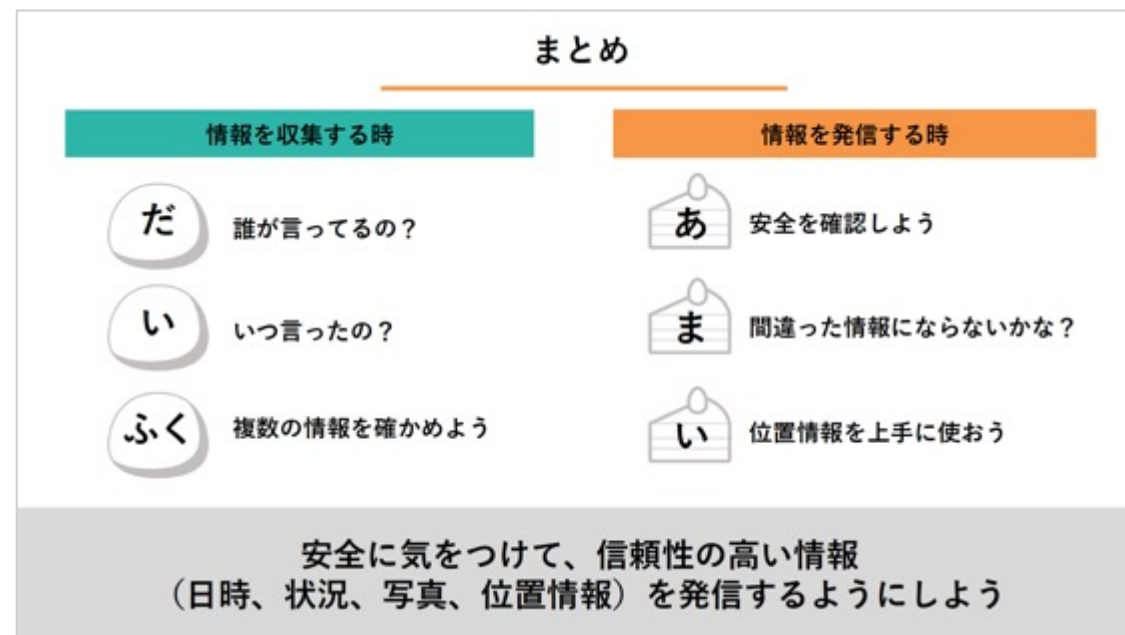
## 教材のねらいと活用のポイント

### ◆ポイント①

災害時の「情報の信頼性を見極め方（情報収集編）」  
「情報発信のポイント（情報発信編）」を学ぶ

### ◆ポイント②

「守られる存在」から「貢献できる存在」へ





# 情報防災教育の取り組み

「災害時の情報とのつきあい方」に焦点をあて、情報を活用しながら命を守る行動が取れるようになることを目的に、国立大学法人静岡大学教育学部准教授 塩田真吾氏と共同で教材「情報防災訓練」の開発を行っています。

## ①情報防災訓練（情報収集編）

実際の災害時を想定し、用意されている「SNSの情報」を見ながら信頼できるものかどうか、拡散しても良いかななどを考え話し合うグループワークや、「だいふく（だれが・いつ・複数の情報を確認）」という言葉を使って情報の信頼性を見極める訓練等の内容が盛り込まれています。

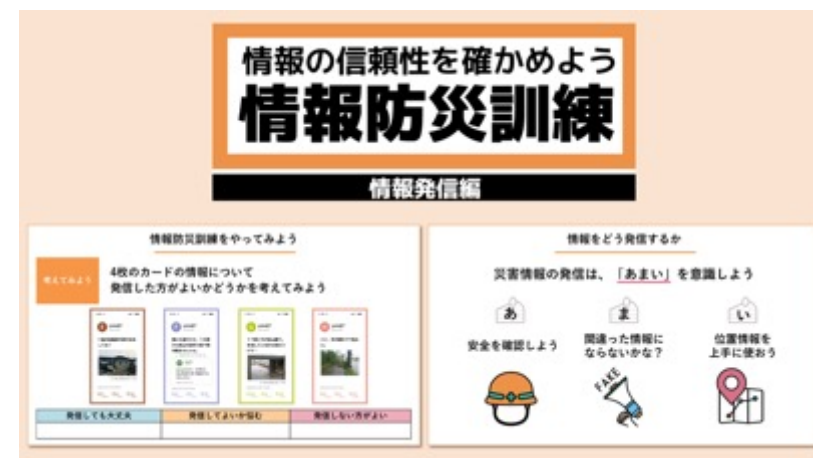
教材DL URL : <https://line-mirai.org/ja/events/detail/24>



## ②情報防災訓練（情報発信編）

実際に災害が起きたと想定し、用意された「情報カード」を見ながら発信して良い内容、しない方がいい内容を話し合うグループワークを行った上で、「あまい（安全を確認しよう・間違った情報にならないかな・位置情報を上手に使おう）」というキーワードを使って、情報を発信する際に気を付けるポイントを学べます。

教材DL URL : <https://line-mirai.org/ja/events/detail/63>



# 自治体による防災啓発コンテンツの配信

ハザードマップ、避難先、避難のタイミング、そしていざという時に役立つ防災情報や避難情報など大雨の時に命を守るために必要な一連の情報を「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」としてLINEで配信。

## Point

それぞれの市町村に合わせた  
情報配信

選択した市町村に連動して、身近な地域の情報がフォーカスされて表示されるので、情報の確認が簡単。

## Point

配信1週間で参加回数60,000越え  
93%が防災意識の高まりを実感

参加者からは、配信内容のみならず、好きな場所で好きな時に参加できる手軽さを評価する声も多く寄せられた。

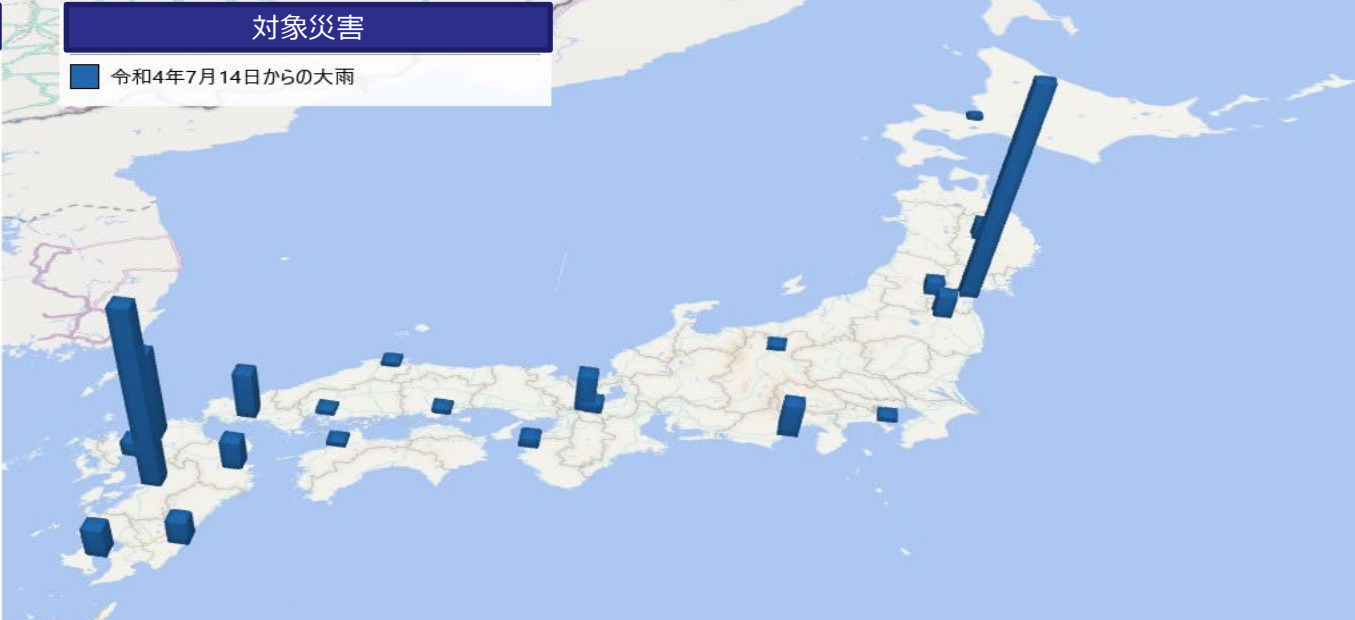
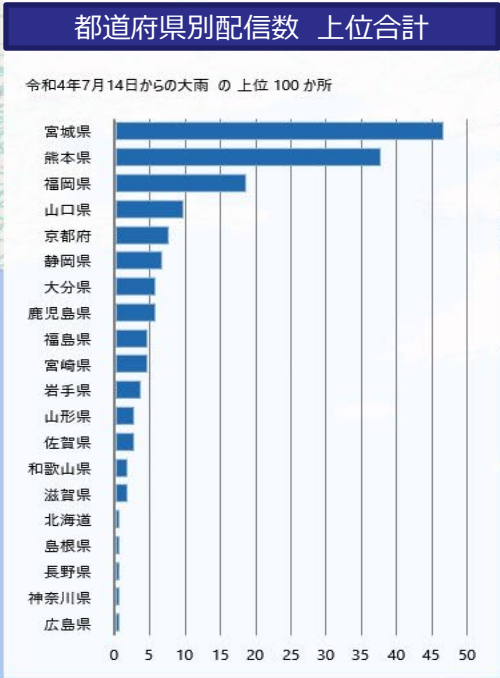


# 緊急速報メール

2023.6.28

株式会社NTTドコモ

訓練/テスト配信・省庁配信を除く 配信元都道府県・市区町村の災害・避難情報 都道府県別  
データ抽出区間：2022/07/13～27



配信年月日	北海道	岩手県	宮城県	山形県	福島県	神奈川県	長野県	静岡県	滋賀県	京都府	和歌山県	島根県	岡山県	広島県	山口県	愛媛県	福岡県	佐賀県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	合計
2022/07/13			11		1																		12
2022/07/15			7		2												2		23		2	2	38
2022/07/16		3	23			1		3			2	1	1			1					1	1	37
2022/07/17			3	3																			6
2022/07/18			2												4		6	1	13				26
2022/07/19									2	8				1	6		11	2	2	6		1	39
2022/07/20			1																		2	2	5
2022/07/23	1	1																					2
2022/07/26								4															4
2022/07/27					2		1																3
総計	1	4	47	3	5	1	1	7	2	8	2	1	1	1	10	1	19	3	38	6	5	6	172

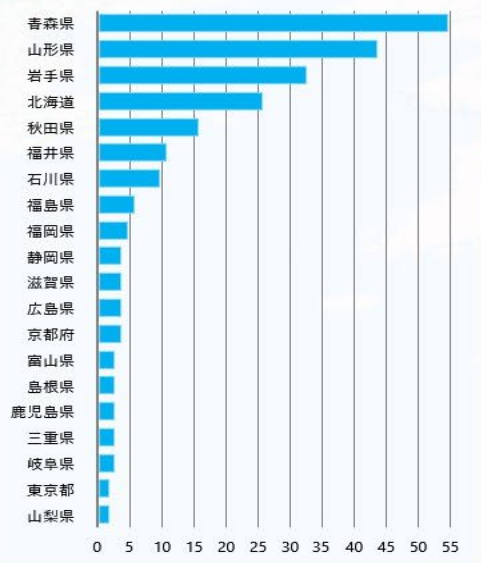
注)数値は配信状況を示す参考値であり、実際の配信数とは異なる場合があります。



## 訓練/テスト配信・省庁配信を除く 配信元都道府県・市区町村の災害・避難情報 都道府県別 データ抽出区間：2022/08/03～27

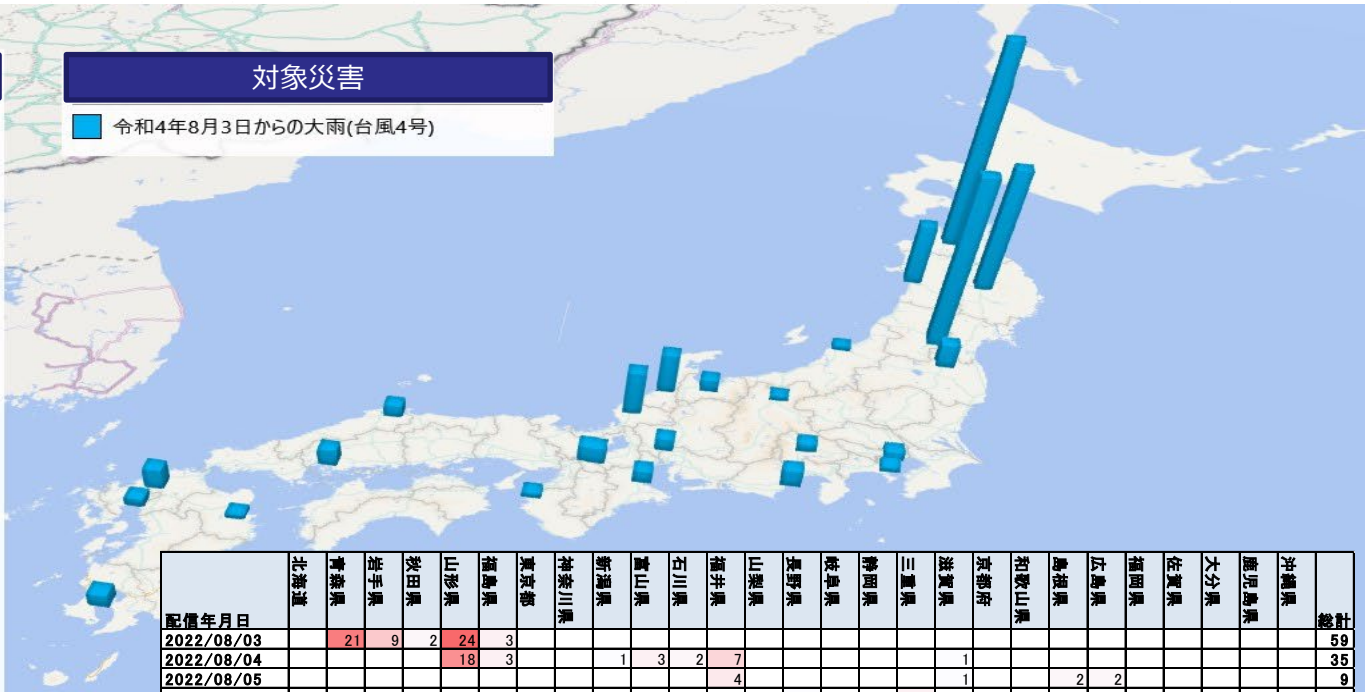
### 都道府県別配信数 上位合計

令和4年8月3日からの大雨(台風4号) の 上位 100 か所



### 対象災害

令和4年8月3日からの大雨(台風4号)



配信年月日	北海道	青森県	岩手県	秋田県	山形県	福島県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	三重県	滋賀県	京都府	和歌山県	鳥取県	広島県	福岡県	佐賀県	大分県	鹿児島県	沖縄県	合計
2022/08/03		21	9	2	24	3																						59
2022/08/04					18	3			1	3	2	7						1										35
2022/08/05												4							1			2	2					9
2022/08/08															1		3											4
2022/08/08		11																										11
2022/08/09			19		1																							20
2022/08/10			3		3																							6
2022/08/11			5		4																							9
2022/08/12			6		5																							11
2022/08/13			13		1		2	1								4												21
2022/08/14				3		2															1							6
2022/08/15			2	4	4																							10
2022/08/18		9		4																								14
2022/08/18		1																2	4			1						18
2022/08/18												1																1
2022/08/20												5																5
2022/08/21												1															3	4
2022/08/24														2														2
2022/08/25															2				3									3
2022/08/27																											1	1
総計	26	55	33	16	44	6	2	1	1	3	10	11	2	1	3	4	3	4	4	1	3	4	5	2	1	3	1	249

注)数値は配信状況を示す参考値であり、実際の配信数とは異なる場合があります。

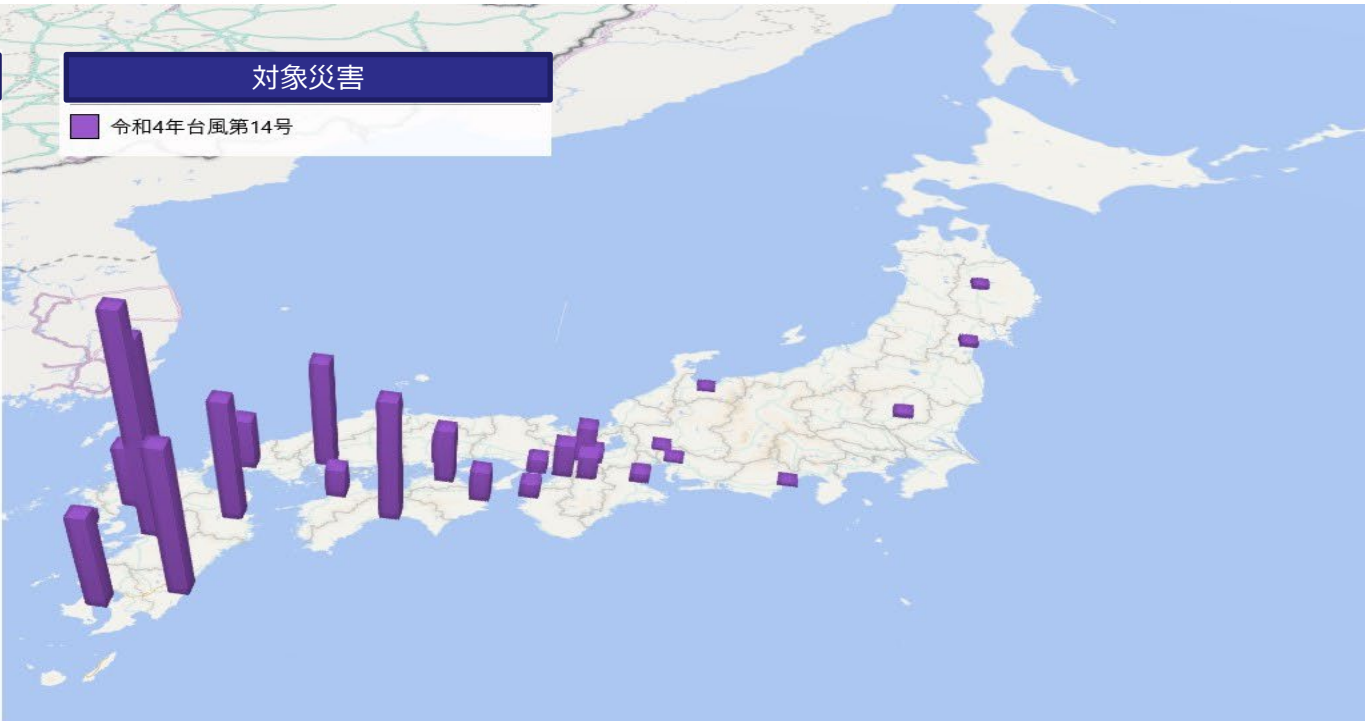
## 訓練/テスト配信・省庁配信を除く 配信元都道府県・市区町村の災害・避難情報 都道府県別 データ抽出区間：2022/09/16～20

都道府県別配信数 上位合計



対象災害

■ 令和4年台風第14号



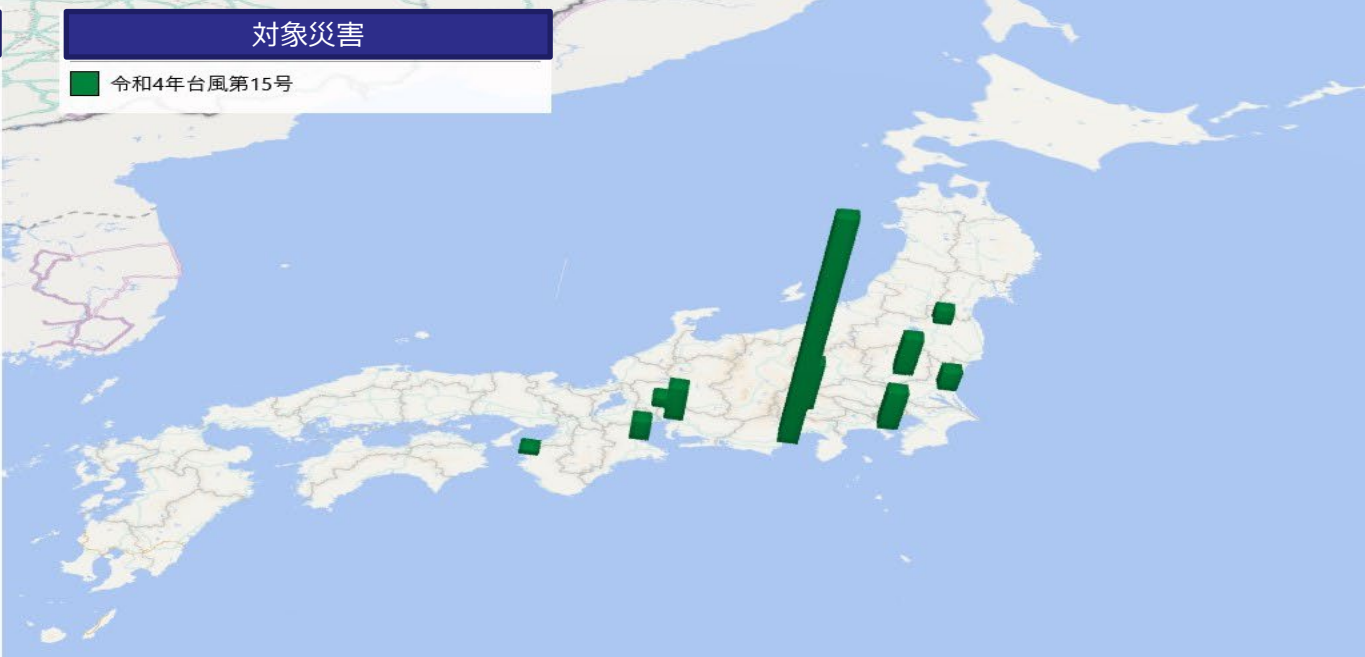
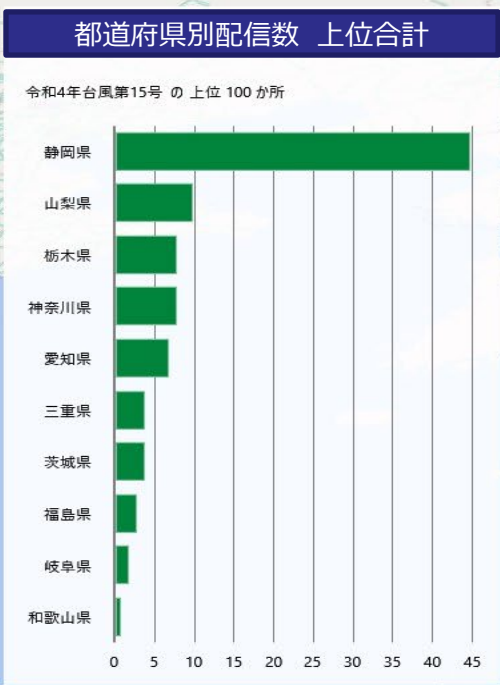
配信年月日	岩手県	宮城県	栃木県	富山県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	計
2022/09/16																										1					1
2022/09/17																											17	1	12	30	60
2022/09/18			2														26	16	12	7		8	38	54	26	4	68	37	42	8	350
2022/09/19	1	1		1	1	1	1	4	5	14	14	6	9	5	3	11	19	5	1	16		4	12	10		1	6	11	7	1	170
2022/09/20	1	1								1			1										1				2	1			8
総計	2	2	2	1	1	1	1	4	5	15	14	6	10	6	4	11	45	21	13	23	12	51	64	26	5	92	51	62	39	589	



注)数値は配信状況を示す参考値であり、実際の配信数とは異なる場合があります。



訓練/テスト配信・省庁配信を除く 配信元都道府県・市区町村の災害・避難情報 都道府県別  
データ抽出区間：2022/09/23～24



配信年月日	福島県	茨城県	栃木県	神奈川県	山梨県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	和歌山県	総計
2022/09/23					4	2	37	7	4	1	55
2022/09/24	3	4	8	8	6		8				37
総計	3	4	8	8	10	2	45	7	4	1	92



注) 数値は配信状況を示す参考値であり、実際の配信数とは異なる場合があります。



以上





# 水害・土砂災害に対する取組状況

～ 住民自らの行動に結びつける ～

令和5年6月28日

見附市企画調整課 危機管理室

# 総合防災訓練（令和5年6月18日）

新潟県見附市



## 水害・土砂災害を想定した総合防災訓練の実施 ～4年ぶりに全市一斉避難訓練（173町内）を実施～



市職員による避難者の受付



地域コミュニティと協働し避難所開設



公民館の車庫棟にペット同行避難（初）



各町内では

- ・避難の声かけ  
（避難インフルエンサー）
- ・一時避難場所の確認
- ・避難者名簿の作成
- ・町内住民の安否確認
- ・防災倉庫の資器材の点検
- ・個別避難計画訓練
- ・消火器訓練
- ・AED講習 など

様々な活動を実施

市内の中学生 約240名  
がボランティアとして参加

# 避難インフルエンサーの取組



## 避難インフルエンサーとは

避難情報が発令された場合に、自らが率先して避難行動を取るとともに、近所の人にひと声かけて避難を促す(影響を与える)人のこと



- ・ 令和2年度から取組を開始
- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域  
想定浸水深3メートル以上の55町内で選任  
(約400名)
- ・ 一斉避難訓練時に担当地区の避難の声かけに要する時間の記録・報告

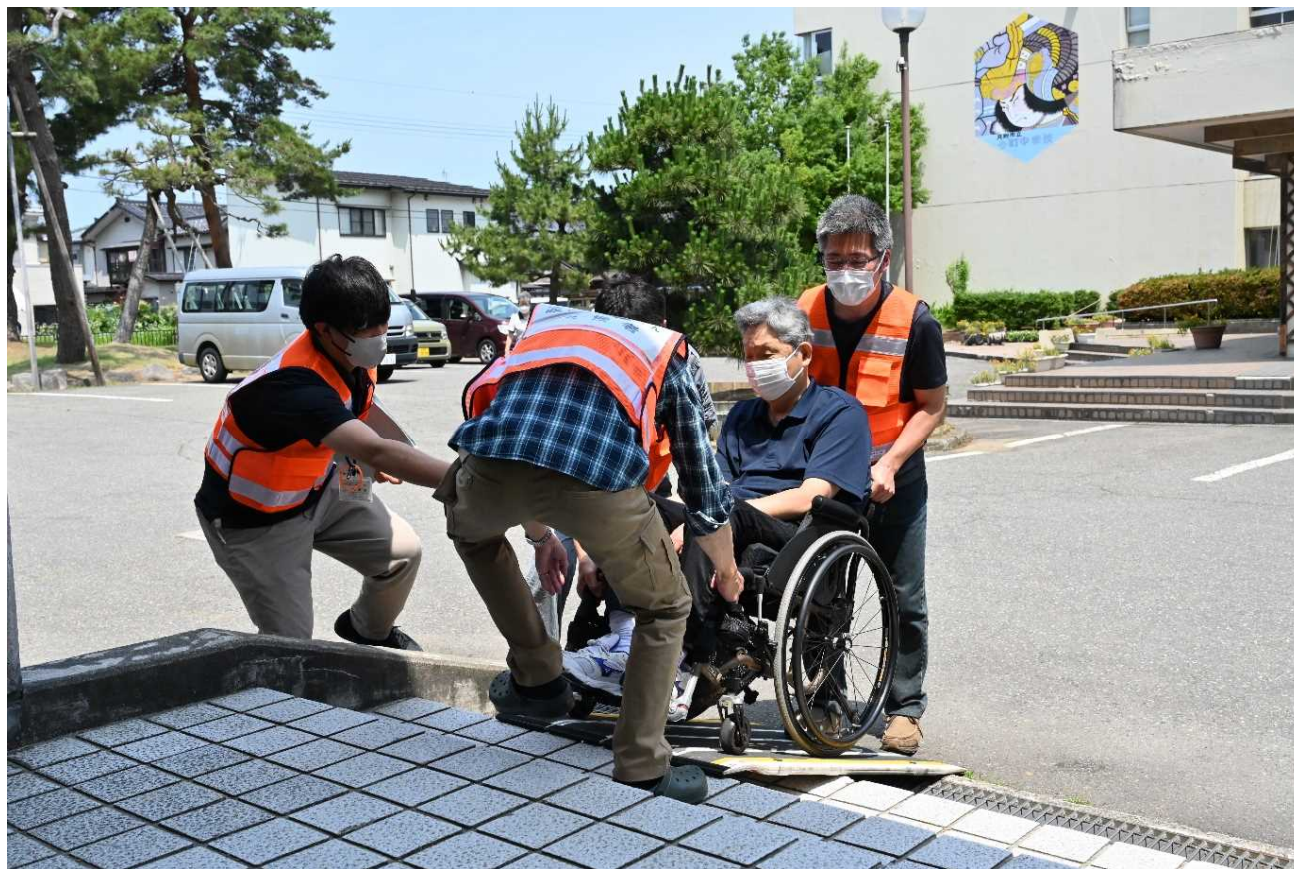
身近な人同士で声をかけ合い、逃げ遅れる人が出ないように、早めの避難を！

# 個別避難計画訓練



発災時に「誰も取り残さない」避難を目指して

個別避難計画に基づき、避難行動要支援者の自宅から市内の  
中学校体育館へ避難



支援者で協力して要支援者を避難所へ誘導

- 町内会、地区民生委員、地域コミュニティ、地域包括支援センターと協働し実施
- 要支援者の家族以外にも、町内の見学者が多数参加
- 発災、招集、避難支援者の声かけ、誘導、避難までのイメージを確認